

## 『INCH の楽しい仲間たち』 vol.6

今年、「冒険学校みなかみ雪中キャンプ」は中止になりましたが、みなかみで新たな～久しぶりの縁がありましたので、ご紹介します！！(事務局)。

利根川源流の限界集落、群馬県みなかみ町藤原の北山郁人と申します。

みなさん飲水思源という言葉をご存じですか。水を飲む時はその源に思いをはせ、感謝しましょうという意味です。私のミッションは、この飲水思源を合言葉に利根川の下流域の人々と協力し、この藤原の里を世界中から人が集まる桃源郷とすることです。まったくのよそ者である北山家が家族4人で藤原に移住したのは5年前の2008年、それまで住んでいたのは東京都奥多摩町。水源林を保全するための林業に従事したり、田舎暮らしが体験できる自然学校を地域の人たちと運営していた。国立公園を管理するレンジャーの仕事にも就いた。その頃、自然文化誌研究会さんのお手伝いも少しさせていただいたことがある。

しかし、本当に自分のやりたいこと、人生をかけて挑戦したいこと、それができる場所を探そうと決意した。日本中の山村を歩いて回り、そして利根川を遡りたどり着いたのが藤原であった。みなかみ町の半分の面積である390平方キロにわずかに人口450人、かろうじて学校も残っている。小学生17名、中学生6名、保育園生2名、巨大ダム4つ。スキー場3つ、ゴルフ場1つ、大規模ホテル旅館4軒、ペンション民宿40数軒。尾瀬にも近い。首都圏からのアクセスの良さ。そしてなにより、その3000万人の命の水としてのつながり。こんな条件の良すぎる場所はなかった。実際適当な仕事なら結構ある。空き家もたくさんある。

なのに、人は減り続ける。奥州藤原氏の末裔が隠れ住んだといわれ、800年以上の歴史ある集落が消えようとしている。北山家の移住の第一条件は、古民家に住む事であった。地元の人たちにとっては、ぼろくて、おカネをかける価値のないナンバーワンである。これを自ら修復し、おカネをかけずに快適に暮らせるようにするところから始めた。しかし、築100年以上の古民家とあって、床下がすべて腐っていた。地元のスギ材を加工し、床を張り直した。地元の方は、よくあんなぼろくて寒いくず屋にすむねーというが、ちょっと工夫してやれば、快適な住みかとなるのである。移住のきっかけとなったもう一つの活動が、茅場の再生活動である。12年まえから、森林塾青水というボランティア団体が、40年間放置されていたかつての入会地であるスキ草原の再生活動を行っている。春には野焼きをおこない、秋には茅刈りをおこなう。

我が家の古民家の最終目標は、この茅で茅葺屋根に戻すことです。現在、この茅場で刈り取った茅は、関東一円の文化財の屋根材として、専門業者に一束100円で買い取ってもらっている。また、地元の方に講師となってもらい学校団体の体験学習の場としても活用している。

本気で地域を元気にするために、今年度から藤原むらづくり協議会を立ち上げ、農林水産省からの交付金もいただけることになった。現在、専従スタッフを募集中です。

日本の文化の源流にふれ、学び、本物を体験する。飲水思源という合言葉で利根川の下流域の人々と交流し、世界中から日本の原風景をもとめて藤原へ人々が訪れる、そんな桃源郷を目指します。

#### ■首都圏の水源地の村と一緒に守る人材募集！

##### ●活動・研修の内容：

- ・地域住民の求めているものやこの地域をどうしたいのか、などのヒアリング調査。
- ・休耕地、農産物の生産状況の調査。
- ・域外の若者から見て魅力的な地域資源の発掘。
- ・田舎暮らしの体験プログラムの開発。
- ・地域の人と一緒にイベントの運営。
- ・ブログ、Twitter、Facebook等による地域情報の発信。

##### ●募集対象 ●募集人数 1名

- ・お年寄りとのコミュニケーションが好きな方。
- ・地域住民と協力しながら一緒に活動できる方

##### ●主な活動場所：みなかみ町藤原地区にある直売所 勤務時間 8時30分～17時30分(8時間勤務)

##### ●給与：月額160,000円(日額8,000円×20日) 社会保険あり

##### ●その他特記事項：住居は、有料ですが、町営住宅、1軒屋、下宿等も可能です。

##### ●希望者は、必ず現地を見に来てください。この場所で生活できるかどうか、自分の目でご確認願います。現地見希望の方は、事前に下記へメールでご連絡の上、お越しください。下見のための交通費等は支給しません。

■お問い合わせ先 みなかみ町藤原むらおこし協議会 (NPO 法人 奥利根水源地域ネットワーク) 担当：北山 千 379-1721 群馬県利根郡みなかみ町藤原 3862-1 TEL: 090-4062-4040 メール ikuto@aq.wakwak.com

詳細はコチラ [http://www.keieiken.co.jp/inaka/region/pdf/10\\_minakami.pdf](http://www.keieiken.co.jp/inaka/region/pdf/10_minakami.pdf)

北山 郁人(きたやま いくと) 1974 年 愛知県名古屋市に生まれ。1998 年 日本大学芸術学部美術学科彫刻専攻 卒業。現職：一般社団法人みなかみ町体験旅行 常務理事。みなかみの農家民宿受け入れ態勢作り、自然体験プログラムの企画運営、教育旅行のコーディネートを行っている。その他所属：NPO 法人 奥利根水源地域ネットワーク、森林塾青水、NPO 法人 全国源流ネットワーク